

「サクラ咲く咲く」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

2日前にやっと「綻んで」いたサクラの花が、予想通り、この2日で次々と開花している。もっと少しずつ咲いてくれば、長く楽しめるのに・・・と毎年思う。しかし、満開まではだいたい1週間。それがサクラの「咲きっぷり」なのだ。



「春日通りのサクラ」 2日間に一気に咲いた。



「桜蔭会館のサクラ」 まさに「桜蔭会館」！

もしサクラが百日紅(サルスベリ)のように、2ヶ月も咲いていたら、魅力は半減するだろう。すぐ散ってしまうからこそ、日本人はこの樹の下を歩き、よく観て、愛するのだ。さあ、短いサクラを楽しみに、春の街に出かけよう！

